

新発売!

KST-S 2方向タイプ

雑排水専用



小人小時小資



KST-Sに雑排水専用2方向タイプが新たに追加されました。バリエーションは次の通りです。

・KST-S 100 × 65-50(L) ・KST-S 100 × 50-65(L) ・KST-S 100 × 65-50(I)

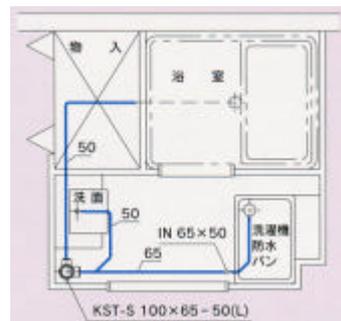
(L)方向、(I)方向に横枝管受け口を備えた2方向タイプは、雑排水専用ですが、複数の雑排水器具を、合理的な配管ルートで排水立て管に接合できます。排水立て管との接合は、「スラブ上面接合」ですから1人で楽に施工できます。

以下に「KST-S 2方向タイプ」の排水性能及び、排水横枝管への流入実験の結果を報告します。

実験条件

供試継手	KST-S100 × 65-50(L)
脚部継手	LJ-K100 × I25
排水横主管	I25A ストレート 5m
排水負荷	定流量負荷

HASS218-1999「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」では、一排水横枝管からの最大負荷流量を2.5 [l/s]としています。KST-S 2方向タイプは雑排水専用のため、一排水横枝管からの最大負荷流量を1.5 [l/s]として実験しました。

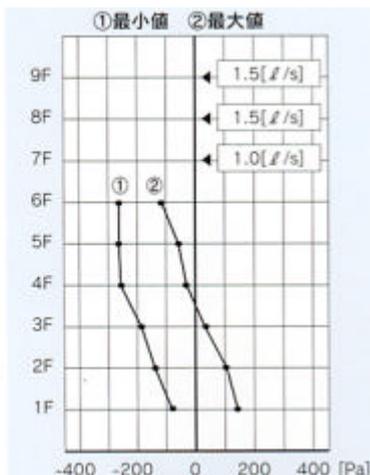


実験結果

KST 100A

(ユーティリティ
単独負荷)

9F	1.5 [l/s]
8F	1.5 [l/s]
7F	1.0 [l/s]
合計	4.0 [l/s]



排水負荷	適応階数 [階]	設計用許容流量値 [l/s]
雑排水系統	15	3.5
台所流し単独系統	20	3.5

負荷流量早わかり KST 専用 ver.

2001.3.15号でご紹介した「負荷流量早わかり」のKST専用ver.を作成いたしました。

負荷流量早わかり KST専用ver.はこちら



雑排水専用2方向タイプの排水横枝管への流入実験



排水横枝管からの排水は、同一レベルの(I)(L)方向の他の排水横枝管には流入しません。

排水立て管から2.0 [l/s]を超える排水が流されると、呼び65の口には飛沫程度、呼び50の口には管端から300 [mm]程度排水が流入します。実験の結果は上記の通りでしたが、汚水を含まない雑排水専用の継手であること、また、一般に使用されているJIS形のDT継手と同程度以下の一時的流入状態であり、実用上問題ありません。

KST-S 100 × 65-50(I)でも横枝管排水は、対向の排水横枝管に流入しません。実験状況を動画でご覧いただけます。(約0.9MB)

! ご注意: 動画をご覧になる際、データのダウンロードが完全でない、と止まって見えることがありますので、ダウンロードが完了するまでお待ち下さい。

KST-S2方向型パンフレット発行

ご希望の方は e-mail でお申し込み下さい。

関連リンク・KST / 騒音レベル・振動加速度測定データは、こちら

・ディスポーザ排水とKSTは、こちら

・HASS206 定常流量 負荷流量早わかりは、こちら

